

教科・科目		対象学年	単位数	教科書
理科・地学基礎		2または3	2	啓林館・高等学校 地学基礎
科目の概要と目標		<p>日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境について理解する。</p> <p>観察、実験などに関する基本的な技能を身に付け、科学的に探究する力を養う。</p> <p>地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>		
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1 学期	第1部 固体地球とその活動 第1章 地球 第2章 活動する地球	第1節 地球の概観 第2節 地球の内部構造 第1節 プレートテクトニクスと地球の活動 第2節 地震 第3節 火山活動と火成岩の形成	<p>地球の概観について学び、その内部構造について理解することができる。</p> <p>プレートと地球の活動について理解し、地震や火山活動、火成岩の形成について考えを深めることができる。</p> <p>衛星画像と活断層分布図を比較する活動に意欲的に取り組み、活断層がある地形の特徴について考えることができる。</p>	
	第2部 移り変わる地球 第1章 地球史の読み方	第1節 堆積岩とその形成 第2節 地層と地質構造 第3節 地球の歴史の区分と化石	<p>堆積岩とその形成や地層と地質構造について学び、地球の歴史の組み立てについて理解することができる。</p>	
2 学期	第2章 地球と生命の進化	第1節 先カンブリア時代 第2節 顕生代	<p>先カンブリア時代や顕生代について学び、古生物の変遷と地球環境の変化について理解することができる。</p>	
	第3部 大気と海洋 第1章 大気の構造	第1節 大気圏 第2節 水と気象	<p>水と気象の関係を学び、大気圏について理解することができる。</p> <p>地球全体のエネルギー収支について理解し、大気の大循環や海水の循環について考えることができる。</p>	
	第2章 太陽放射と大気・海洋の運動 第3章 日本の天気	第1節 地球のエネルギー収支 第2節 大気の大循環 第3節 海水の循環  第1節 日本の位置 第2節 冬から春の天気 第3節 夏から秋の天気	<p>季節ごとの天気図と雲画像を比較する活動に意欲的に取り組み、日本で見られる冬から春、夏から秋への季節の気象について理解を深めることができる。</p>	
3 学期	第4部 宇宙の構成 第1章 太陽系と太陽	第1節 太陽系の天体 第2節 太陽系の誕生 第3節 太陽	<p>太陽系の誕生について理解し、太陽の表面の現象と太陽のエネルギー源及び太陽系の天体について考えることができる。</p>	
	第2章 恒星としての太陽の進化	第1節 太陽と恒星 第2節 太陽の誕生と進化	<p>恒星としての太陽の誕生と進化を理解することができる。</p>	
	第3章 銀河系と宇宙	第1節 銀河系とまわりの銀河 第2節 宇宙の姿	<p>銀河系とまわりの銀河について学び、宇宙の誕生と銀河の分布について理解することができる。</p>	
	第5部 自然との共生	第1節 地球環境と人類 第2節 火山・地震災害と社会 第3節 気象災害と社会 第4節 人間生活と地球環境の変化	<p>地球環境に及ぼす人間活動の影響について、大気中の二酸化炭素濃度やオゾンホール面積などの経年変化を表したグラフから読み取る活動に意欲的に取り組むことができる。</p> <p>日本の自然災害と防災について理解することができる。</p>	

